

**高知から発信する下水道の未来
第3回シンポジウム
「高知家から広がる持続可能な未来の下水道」**

高知大学・高知県・高知市 共催

シンポジウムのねらい

令和2年1月30日

高知大学教育研究部自然科学系農学部門

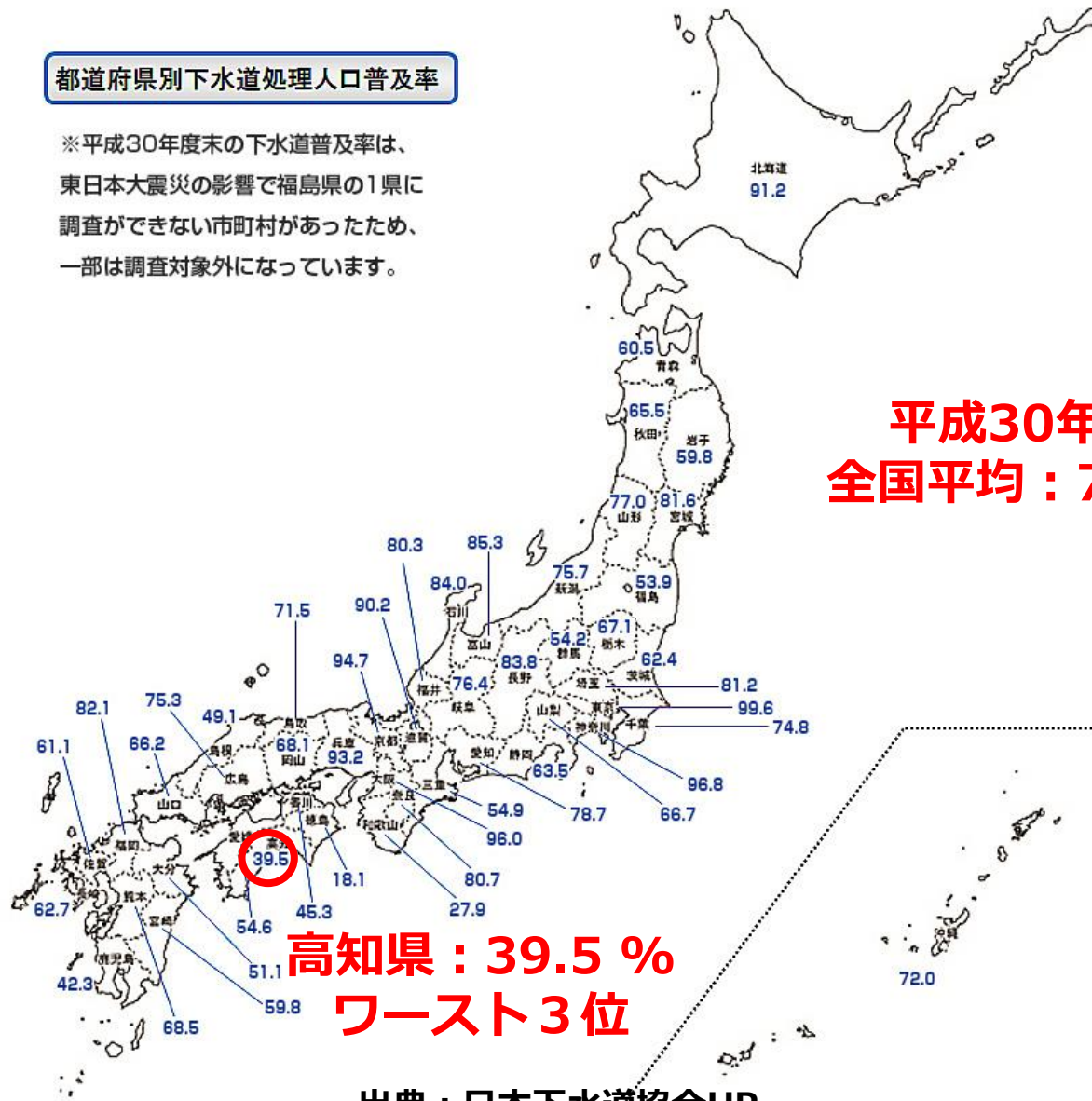
藤原 拓

fujiwarat@kochi-u.ac.jp

高知県の下水道普及率：ワースト3位²

都道府県別下水道処理人口普及率

※平成30年度末の下水道普及率は、東日本大震災の影響で福島県の1県に調査ができない市町村があったため、一部は調査対象外になっています。



平成30年度末
全国平均：79.3 %

高知県：39.5 %
ワースト3位

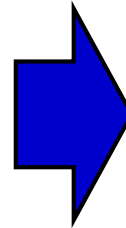
出典：日本下水道協会HP

ピンチをチャンスに

～高知家から広がる持続可能な未来の下水道～

課題満載県

- 下水道普及率：全国ワースト3
- 15年早い人口自然減
- 厳しい下水道経営状況
- 必ず来る南海トラフ地震



課題解決先進県

- 革新的水処理技術の開発
- 下水道経営健全化
- 高知県下水道地震・津波対策ガイドライン
- 高知大学・高知市上下水道局：持続可能な下水道事業構築に関する連携のための覚書

- 高知の下水道課題解決の取組は10年、15年先の全国で役立つのでは？
- 世界へも展開
 - 発展途上国：コスト削減の取組は途上国に親和性有り
 - 日本に次いで高齢化が進むヨーロッパの未来に貢献？

高知家から広がる下水道新技術

● OD法における二点DO制御システム

- 高知県香南市野市浄化センター：稼働中
- 高知県香南市夜須浄化センター：稼働中
- 新潟県糸魚川市青海浄化センター：稼働中
- 秋田県北秋田市鷹巣浄化センター：工事中
- 茨城県笠間市浄化センターともべ：工事中
- 宮崎県三股町三股中央浄化センター：工事中
- 今後導入予定：2カ所

● 無曝気循環式水処理技術

- 高知市下知水再生センター：稼働中（自主研究中）
- ベトナム・ホイアン ODA1号案件：稼働中

● 生物膜ろ過併用DHSろ床法

- 須崎市終末処理場：稼働中（自主研究中）
- タイ王国・コンケン 下水道技術海外実証事業に採択：実証中

シンポジウム 概要

日時	令和2年1月30日（木）13時～17時（シンポジウム） 令和2年1月31日（金）8時～15時（見学会）
場所	シンポジウム：総合あんしんセンター（高知市） 見学会：下知水再生センター（高知市） 須崎市終末処理場（須崎市） 野市浄化センター（香南市）

- 招待講演：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部長 植松 龍二 氏
- 一般講演：高知大学、JICA、日本下水道事業団、北九州市、岩見沢市、須崎市、香南市
- 司会：ミス日本水の天使（中村 真優さん:初仕事）
- 参加者数：261名（1月17日現在）
 - 県外から150名程度
 - 北は北海道、南は福岡県まで全国よりご参加
 - 見学会133名

シンポジウムのねらい

- 高知発の下水道技術は10年、15年先の全国で役立つのでは？
- 講演会と現地見学会を通じて、地域の人々に幸せをもたらす「持続可能な未来の下水道」についてご来場の皆様とともに考えたいと思います。

シンポジウムのねらいと講演内容（敬称略）

ねらい	国/行政の動き	新技術	防災・減災	資源循環
全国から最先端の下水道を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 国交省(植松, 松原*, 石井**) ● JICA (北川) 	<ul style="list-style-type: none"> ● JS(橋本) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北九州市(伊藤) ● 福井市(小泉**) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 岩見沢市(寺田)
高知家からの発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 高知県(伊藤*) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高知市(尾崎*, JICA北川) ● 須崎市(西村) ● 香南市(宮田) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高知県(中野**) ● 高知市(土居**) ● 宿毛市(平井**) ● いの町(川村**) ● 高知大(張**) 	

*第1回シンポにて講演、**第2回シンポにて講演